

平成 29年 6月 28日

敬愛短大附属幼稚園だより 7月号



梅雨が明けると真夏モードに入りますが、子どもたちは元気に季節感を楽しんでおります。小運動会では、子どもたち一人ひとりが練習の成果や、ふだんから行っている「チャレンジ」での体力づくりが効果を発揮して元気に楽しく取り組むことができました。

また、新たに本年度から始まりました年長さんと保護者の方を対象とした「かがくのひみつきち」（年間10回、40プログラム）もおかげさまで、申し込み初日に園児定員の20名が瞬く間に埋まり、キャンセル待ちの状態です。毎回、園児を含め、保護者や家族の方、約50名近くが参加され、「きーくんとぴっちやん」夫婦が指導者として行う結構高度で楽しい科学教室を親子で体験されています。ご迷惑をおかけしますが、今回は申し込み出来なかったご家庭も次回は諦めず是非エントリーしてください。第2回の申込者の5割近くは新規の申し込みの方が参加できています。また、既参加の方もアンケートによると全員の方が次回も是非参加したいと回答されています。本来ならご希望の方全員に参加していただきたいのですが、「かがくのひみつきち」の付加価値と質を保持したいと思いますのでご容赦ください。



（「かがくのひみつきち」の一コマ）

1 幼稚園の先生方も頑張っています

園内だけでも年間22回近くの研修を実施し、保育の質を高めるために常に努力しています。これほどの数の研修ができることは附属幼稚園の良さです。今年度は「見つけるための援助」について研究を進めています。これからも究極のパーソナル保育を目指して先生方も尚一層頑張りますので応援団となって温かく見守ってください。また、SONY教育財団が募集している「幼児教育支援プログラム」の論文に挑戦します。（昨年度は全国から109件の応募）



2 登園玄関口のテレビで園行事の速報

園ではたくさんの行事が目白押しです。カメラのシャッターを切るとそこにはいつも素晴らしい表情の子どもたちの瞳が輝いています。そんな姿を皆様いち早くお届けできたらと、4月から機会あるごとにテレビでスライドショーの公開を始めておりますので、園の生き生きした子どもたちを見つけてください。時には30分も見ていないと終わらないくらいの映像満載です。行事ごとにどんどん更新しますので、来園の際は是非見逃さずにお立ち寄りください。子どもたちもこの画像をよく見えていますし、日頃から探しては集めているダンゴムシの巨大な姿が出てきて歓声が上がっています。（デジタル顕微鏡で撮影したもので、拡大すると見えてくる姿に興味を持ってくれたら嬉しいです）これからも子どもたちの姿を撮影した映像の間から、突然面白い映像が飛び出すかもしれませんのでびっくりしないでください。先日年少さんのクラスから「テレビを見せてください」とリクエストがあり、みんなで楽しみました。

（園長 杉山）